

産業建設常任委員会 所管事務調査報告書

1 開催日時

令和6年3月27日（木曜日） 午前10時～午前11時30分

2 開催場所

豊田市役所

3 出席委員（5名）

委員長	塩田智明	副委員長	渡邊清美
委員	小松大介	委員	渡邊俊一
委員	菅原福治		
参 与	議長 金子透		

4 欠席委員（なし）

5 説明のため出席した者（5名）

豊田市建設部道路維持課	課長	松本成喜
"	副課長	内田良平
"	主任主査	泉圭一郎
"	技師	近藤加奈
豊田市議会局総務課	主査	三浦望

6 事務局職員出席者（1名）

議会事務局 高橋直美

7 調査項目

豊田市道路施設管理計画について

調査事項

- ① 道路舗装について
 - ② 道路損傷通報システムについて
-

8 調査報告

【愛知県豊田市の概要】

豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、愛知県全体の 17.8%を占める広大な面積を持つまちである。世界最大級の自動車メーカー・トヨタ自動車の企業城下町であり、全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」として知られる。一方、香嵐渓や稻武温泉、 笹戸温泉、松平郷、勘八峠、足助の古い町並みなど景勝地・保養地・文化資源も多く、観光都市という側面も持つ。

- ・総人口 415,633 人 (令和6年3月1日現在)
- ・世帯数 186,070 世帯 (令和6年3月1日現在)
- ・面 積 918.32 平方キロメートル

【豊田市道路舗装について】

1 舗装修繕計画

舗装済みの市道延長は、約 2,446 km。令和2年3月に舗装修繕計画（令和3年～令和7年度）を策定し、幅員 7 m 以上の道路で大型車の交通量が多く損傷の進行が早いと考えられる約 189 km を重要道路とし、損傷の進行が緩やかなその他の市道延長約 2,257 km については事後保全修繕対象路線として、計画的・効果的・効率的な舗装の維持管理を実施している。

2 巡視・点検・診断および維持管理・修繕等の実施状況

① 巡視の実施状況

AI による画像認識技術を使って穴ぼこを検知するため、専用のドライブレコーダーを取り付けたパトロール車にて、重要道路は週 1 回程度、その他市道については月 1 回程度巡視している。

② 点検・診断の実施状況

路面性状測定車、コネクテッドカー等で取得した道路状況などの様々なデータを集積・分析し、その結果を用いて診断を行っている。

③ 維持管理

重要道路については、優先順位の高い箇所から計画的に修繕を実施している。その他の市道については、定期的かつ適切に維持管理を行ったうえで、事後保全にて修繕を実施している。

【道路損傷通報システム】

1 導入目的、概要

道路損傷通報システムは、市民からの道路損傷情報を幅広く収集することにより安全安心な道路環境の確保につなげることを目的に、令和6年1月4日から運用を開始した。

システムでの道路損傷状況の通報は、豊田市LINE公式アカウントのメインメニューから「道路通報」をタップし、専用のトーク画面から案内に従って、損傷種類・事象・位置情報・状況写真などを簡単に送信することができる。

2 導入効果

運用開始から2か月間で90件の通報があった。市民からの通報は、生活道路や通学路の通報が多い。損傷状況、場所などを正確に把握できるため、効率的かつ迅速に対応できるようになった。

3 今後の課題

通報件数を増やすためのPRの実施や、利用者アンケートを実施して更なる操作性の向上に向けて取り組んでいく必要がある。

【所 感】

豊田市は、市が管理する道路舗装の巡視・点検・診断を路面性状測定車、コネクテッドカー等を活用して、取得した道路状況などの様々なデータを集積し、AIによる画像認識技術を使って診断を行っています。

さらに、道路損傷を発見した時に、豊田市LINE公式アカウントのメニューから写真や位置情報を送信して、通報することができる「道路損傷システム」を令和6年1月から導

入まし、補修までの時間短縮を図っています。

本市の道路施設も老朽化が進み、損傷・不具合の早期発見と迅速な対応が求められています。現在、工業用地整備、企業誘致に積極的に取り組んでいる本市としては、安全安心な道路環境の確保ができるよう、道路舗装の巡視・点検・診断の更なる強化、道路損傷通報システムの早期導入が必要と考えます。

令和6年6月19日

委員長 塩田智明
